

アーツカウンシル東京 令和5(2023)年度 事業ラインアップ発表

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、このたび、令和5(2023)年度の事業ラインアップを決定しましたのでお知らせします。

<2023年度の主な取組>

■新たな芸術文化の創造と参加・鑑賞機会の創出

デジタルテクノロジーの活用を通じて、人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点「シビック・クリエイティブ・ベース東京[CCBT]」、都立文化施設が有する所蔵品や、展覧会・公演等の文化資源をデジタル化する等、最新技術による多様な形態での鑑賞体験を提供するプロジェクト「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」、高齢者、障害者、乳幼児、海外にルーツをもつ人等、様々な人たちが文化事業に参加し、共に創造していくための環境整備の拡充に取り組む「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」といった事業を中心に、文化事業や都立文化施設の資源を通して、これまで蓄積した専門的知見に基づき、「誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境」を目指します。

■東京の芸術文化活動とその担い手支援の拡充

令和5年度は、アーティスト等の持続的な活動を支え、新たな活動につなげていくため、相談窓口事業やサポート情報提供事業、講座事業の3つの事業を柱にしたサポートセンター機能を整備します(「東京芸術文化活動サポートセンター(仮称)」)。また、創作の場を求めるアーティストに活動スペースを提供する「アーティストの創作環境の整備」や、アートイベントの機会を捉え若手アーティストの活動を後押しする「若手アーティストの制作・発信支援(仮称)」等で、アーティストへの支援を強化していきます。

事業の詳細は、別添の事業一覧をご覧ください。

1. 企画戦略事業
2. 芸術文化支援事業<助成・活動支援>
3. 芸術文化創造・発信事業<参加・体験プログラム>
4. 人材育成事業
5. ネットワーク形成事業

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

※これらの情報は2023年3月29日現在のものであり、内容は変更になる場合があります。

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当: 糸園、圓城寺
TEL: 03-6256-8432 E-mail: press@artscouncil-tokyo.jp